

2011年4月27日

男女共同参画会議 基本問題・影響調査専門調査会
女性と経済 ワーキング・グループ

NPO 法人ケア・センターやわらぎ
社会福祉法人にんじんの会
立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科
石川 治江

- 1 「介護」について
- 2 1986年流行語部門・銅賞受賞 「亭主元気で留守がいい」：なんと名言か！！
→この結果なにがより起きてきたか
→この年に生まれた子供は今25歳
- 3 1986年はどんな年か
→この年から1991年までの51ヶ月続いた：バブル景気（戦後3番目）
→1965年11月から1970年7月までの57ヶ月続いた：いざなぎ景気
→2002年2月から2007年10月までの69ヶ月続いた：いざなみ景気
- 4 ・1988年はジュリアナ東京の全盛期（後にコムスン：介護業界で有名だった折口氏）
・この年ぐらいからバブル景気を実感する出来事多く出現した
・1989年三菱地所が約2000億円でロックフェラー・センターを購入した
・1990年の流行語部門・銀賞受賞「バブル経済」（誰が言ったかわからないので受賞者の該当者はなし）
- 5 提案：「スローガンから実践へ」
そのⅠ「データから個へ」
 - ・ データは量 → 個の問題・個人への問題へとシフトする必要がある
介護の領域で行ってきたことは、介護で困難な状況にある人々の問題や課題をひとりひとりの問題であると捉え、その問題を解決するためにどのような策を講じたらいいのか、徹底的に議論し実践してきたことである。すなわちパーセントで表すことに限界があると認識することである。

そのⅡ「ハーフ・アンド・ハーフ施策」

- ・男女共同参画社会を実現するには構造物をつくったからといって解決するものではない、が、基盤整備としてのハードは必要である。と同時にソフトとしての機能を入れ込む施策を創る。この施策の創設には若い人が必要。中学生、高校生、大学生も視野に入れること。

そのⅢ「個人知・経験知を形式知へ」→「市民知」

- ・個人が持つ経験知はそれぞれに豊富で、それぞれに異なり、それぞれに価値がある
この「知」をもちよることによって「形式知」としてのサービスの仕組みができる
→この手法が「ケア・センターやわらぎ」である
- ・個人個人の問題解決には、気持ちよく、無理なく、誰でもが参加できるサービスの開発が必要である。

以上

【2】法人概要

沿革

- 1981年4月 障害者と共に立川駅にエレベーター設置運動開始
- 1987年10月 非営利の民間団体として立川市にケア・センターやわらぎ設立
24時間365日の在宅福祉サービス提供・地域を限定しないサービス提供の開始
- 1989年3月 訪問看護サービス開始
- 1991年9月 国分寺事務所開設
- 1994年11月 「ケース管理業務支援情報システム」（通称ichigoシステム）の開発
- 1995年8月 国分寺事務所にてデイサービスセンター開設
- 1996年9月 日野市神明事務所開設、日野デイサービスセンター開設
- 1997年 立川駅に5基のエレベーターが設置される
- 8月 「社会福祉法人にんじんの会」設立
- 1999年10月 ichigoシステムが「情報化月間推進会議議長賞」（総務省、郵政省、科学技術省、通産省等）の表彰を受ける
- 2000年1月 「特定非営利活動法人格」内閣府取得
- 4月 介護保険指定事業所取得、「24時間コンビニデイ」開設
「心のうろこ落としましょ」毎日新聞へ連載、「介護はプロに、家族は愛を」出版
- 10月 山梨県上野原事務所開設
- 2001年1月 「24時間コンビニデイ」の撤退
- 3月 ISO9001を4事業で取得（訪問介護、訪問看護、デイサービス、ケアプラン）
- 11月 「ホームヘルプサービスの危機管理」ビデオ企画編集（中央法規出版）
- 2002年4月 やわらぎ・にんじん協議会 研修センター開設
- 10月 国分寺事務所移転、デイサービスセンターの拡張
- 2003年4月 ISO9001：2000年版への移行審査、拡大審査の認証取得
- 5月 立川事務所移転、デイサービスセンター開設
やわらぎ・にんじん協議会 研修センターの拡張
- 2005年1月 東恋ヶ窪事業所、デイサービスセンター開設
- 2月 「西恋ヶ窪にんじんホーム」社会福祉法人にんじんの会開設
- 8月 「やわらぎホーム」西立川事業所、グループホーム、ショートステイ、デイサービスセンター、複合福祉施設開設、訪問美容サービスやわらぎ開設
- 2007年12月 法人本部事務所、やわらぎ・にんじん協議会 研修センター移転

事業概要

- (1) 在宅福祉に関する啓発事業
 - ・やわらぎ通信の発行
- (2) 研修および人材育成
 - ・ホームヘルパー2級養成事業
 - ・介護福祉士資格取得への支援
 - ・コーディネーター養成および育成
- (3) 在宅福祉サービス向上のための調査、研究開発および情報収集、情報提供
 - ・ケアマネジメント研究会
 - ・サービスアセスメント様式の研究、開発
 - ・福祉サービスの管理システムの開発
 - ・コーディネーター活動の研究、開発
- (4) シルバープログラムの開発
 - ・高齢者ピアカウンセラーの発掘、養成
 - ・「心の健康食パーティー」「心のふれあいパーティー」の開催
- (5) 有償福祉サービス事業
 - ・ホームヘルプサービス、訪問看護サービス、在宅訪問サービス
- (6) 介護保険指定事業
 - ・ホームヘルプサービス、デイサービス、居宅介護支援事業等

事業所案内

- ・本部事業所（法人本部、研修事業）
 - 〒190-0022 東京都立川市錦町3-1-3 第26クリスタルマンション1階
 - TEL：042-523-3552 FAX：042-523-7077
- ・西立川事業所(グループホーム、ショートステイ、デイサービス、居宅介護支援)
 - 〒190-0013 東京都立川市富士見町2-31-23
 - TEL：042-526-2207 FAX：042-526-2208
- ・立川事業所（ホームヘルプサービス、デイサービス）
 - 〒190-0022 立川市錦町2-6-23 小川ビル1階
 - TEL：042-523-3463 FAX：042-523-6842
- ・国分寺事務所（ホームヘルプサービス、デイサービス、居宅介護支援）
 - 〒185-0012 国分寺市本町4-1-2 エスポワール花澤台1階
 - TEL：042-327-0417 FAX：042-327-0415
- ・東恋ヶ窪事業所（デイサービス）
 - 〒185-0014 国分寺市東恋ヶ窪3-16-61 AMICUS101号
 - TEL：042-322-7706 FAX：042-322-7708